

春秋・戦国時代の諸子百家

前770 ~ 前221

◇諸子百家	春秋・戦国時代に登場した、多くの思想家や学派の総称、乱世を克服する新秩序体系や価値観を模索	
儒家	儒家の祖、魯国の人、「仁」や「孝・悌」などの道徳重視、「修身齐家治国平天下」、その言行録が『論語』	「性善説」の立場から王道政治（徳治主義）を説く、『孟子』
墨家	「性悪説」を唱え、「礼」による教化を説く、『荀子』、彼の説は法家の思想に発展	「兼愛」という無差別の人間愛や、「非攻」という平和主義を唱える
道家	道家の祖、「無為自然」を説き、儒家の仁や墨家の兼愛を人為的なものとして否定した、『老子』	『莊子』、老子の思想を発展させる、道家の思想を「老荘思想」とも言う
法家	戦国時代中期に____の孝公に仕えて国制改革を行い、富国強兵に成功	荀子に学び、秦王政（始皇帝）に仕え、法家思想を確立、強権の下での法律による人民統治
縦横家	____統一後、丞相（宰相）として、郡県制など秦の中央集権化を強力に推進	戦国時代末期、「合従策」を唱え、富強化した秦に対し、他の6国を同盟して対抗させることに成功
	秦の宰相となり、「連衡策」を唱え、秦と他の6国が個別に同盟することを説き、蘇秦の合従策を破る	
	・陰陽家： 鄒衍	・兵家： 孫子・呉子
		・名家： 公孫竜
		・農家： 許行
詩	江南の詩集『楚辞』の代表的詩人、楚の国の人、	華北の詩を集めたのが『詩経』

漢代の文化

前202 ~ 220

儒学	____	帝に献策して、儒学を官学とし、以後2000年にわたり儒学は中国統治思想の主流となる
	____	後漢に成立した訓詁学の大家、その師が馬融、訓詁学は儒学経典の字句解釈を行う学問
	・五経博士	儒学の基本経典の五経『詩経』『書経』『易経』『礼記』『春秋』を教授する官職、武帝が設置
歴史	____	『史記』で太古より前漢の武帝までの通史を著す、「紀伝体」の叙述形式、歴史の父と言われる
	____	後漢の人、前漢の正史『漢書』を紀伝体で著す
宗教	・____	後漢末に張角が始め、社会不安のなか民衆の間に広まった宗教、後漢末農民反乱の____をおこす
	・五斗米道	後漢末に張陵が始め、祈祷による病気の治療を主とした宗教
	・仏教伝来	後漢のはじめ、インドから西域を経て中国に伝わった
技術など	____	後漢の宦官で、製紙法を発明した、これ以前は木簡・竹簡や布帛に書かれた
	『____』	後漢の許慎が著した中国最古の字書で、約10000の漢字が収録されている

220 ~ 589

魏・晋・南北朝の文化（六朝文化）

文学	詩 詩文	東晋 梁	『帰去来の辞』で有名な六朝文化を代表する田園詩人
			詩文集の『文選』を編纂、後世の作詩・作文の模範とされ、平安期の日本でも流行
歴史	『後漢書』、『三国志』		前者の中の倭の奴国の記述、後者の『魏志倭人伝』の記述は日本についての貴重な文献史料
芸術	絵画 書道	東晋 東晋	『女史箴図』は代表作、「画聖」とよばれ人物画にすぐれていた
			『蘭亭序』は代表作、「書聖」とよばれ、楷書・行書・草書の三書体を完成した
思想	・清談の流行		魏から晋にかけて盛んだった、超俗的な老荘思想による論議、「竹林の七賢」はその代表的人物
仏教	・北朝の石窟寺院		北魏の都平城郊外の雲崗や、遷都後の洛陽郊外の竜門、西域入口の敦煌は代表的
	渡来僧	五胡十六国	西域僧、亀茲出身で中国への仏教伝道に努める
	渡印僧	五胡十六国 東晋	西域僧、亀茲出身で大乗経典の漢訳を行い、仏教発展に大きな功績を残す
			朝期のインドに渡り、『仏国記』を著す、西域からインドに入り、海路で帰国
道教	____	北魏	道教を教団として成立させた、道教は神仙思想や老荘思想などを基盤に成立し現世利益的傾向
	『____』	北魏	現存最古の農業書、 思 の作、華北の乾地農法や農作物・牧畜・食品加工など広く記述
	『____』	西晋	代表的医学書、病気の治療法や薬物の効用について記述

618 ~ 907

唐代の文化

文学	唐詩	詩仙とよばれる、盛唐（____時代）の酒を愛した放浪の大詩人、『子夜呉歌』は代表作
	____	詩聖とよばれる、盛唐の大詩人、____を詠む『春望』、『兵車行』などに民衆の困窮をうたう
	____	盛唐の詩人で、絵画でも南画（のちの文人画）の祖とよばれる
	____	中唐の詩人で、『長恨歌』は玄宗と楊貴妃をうたった代表作、『白氏文集』は彼の詩文集
	散文	唐の代表的文章家で、唐宋八大家の一人、漢代以前の古文復興をとこなえた
	____	前者と同様の人物
芸術	絵画	玄宗に仕え、山水画・仏画・人物画にすぐれた唐の代表的画家
	書道	力強い書風で楷書・草書にすぐれた唐を代表する書家、____の鎮圧に尽くし忠臣とよばれた
	工芸	緑・かっ色・白で彩色された唐代の陶器、墓の副葬品として作られた
儒学	____	『五経正義』を太宗の命で編集した、漢以来の訓詁学を集大成した、五経の注釈書で、科挙のテキスト
仏教	渡印僧	____朝のインドに渡り、帰国後仏典の漢訳、『大唐西域記』は貴重な史料、三蔵法師ともよぶ
	____	海路インドに行きナーランダ僧院に学ぶ、『南海寄帰内法伝』は当時の東南アジアの貴重な史料
外来	・____	イランのゾロアスター教、絹の道の東西交易に従事したイラン系ソグド人が多数訪れ、各地に寺院建立
	・マニ教	イランのマニ教、主にウイグル族の間に広まった
宗教	・____	ネストリウス派キリスト教、ローマで異端とされササン朝に入り唐代中国に伝わる、長安には大秦寺
	・回教	イスラム教、海路アラブ人（大食）によって伝わり、華南各地の港市にイスラム寺院が建立された